

# 北九州地区労連ニュース

2019年 3月号 No. 149

連絡先 北九州市小倉北区黄金1-4-9-207号  
メール k\_roren@ybb.ne.jp 093-921-0747  
ホームページ http://www.geocities.jp/k\_roren/



2・28行動一日総行動は早朝宣伝から始まりました。

## 2019年春闘要求前進をめざす地域一日総行動に述べ103人参加 8時間働けば人間らしくいらしがる社に！

### 早朝宣伝、北九州市、教育委員会、市議会陳情、商工会議所、九州電力に要請

北九州春闘共闘連絡会と北九州地区労連は、2019年2月28日（木）早朝から、「2019年春闘要求前進をめざす地域一日総行動」を取り組みました。とても寒い朝でしたが、市内4つの駅頭での早朝宣伝が終わった後、北九州市職労会議室で意思統一集会を行い、「要請項目の確認や行動内容」について協議・確認しました。

地域総行動は、早朝宣伝、意思統一集会、北九州市要請、北九州市教育委員会要請、市議会陳情、北九州商工会議所要請と早朝7時から15時過ぎまで行なわれ、早朝宣伝に23人、要請行動にそれぞれ25人が参加し整然と成功させることが出来ました。

北九州春闘共闘連絡会と北九州地区労連は、市民と労働者の要求前進をめざし、「職場と地域の共同で2019年春闘勝利を！」

「消費税あげるな！賃金あげろ！」「憲法変えるな！政治をかえろ！」「安倍改憲・労働法制改悪NO！」「賃上げと安定雇用で地域活性化！」「北九州でたたかわれているすべての争議の早期解決を！」をめざし、北九州で働く全ての労働者の要求実現をめざし、2019年春闘要求前進をめざす地域総行動を展開しました。

北九州市・教育委員会には、「全労連統一要請書、学校給食の民間委託を止め直営に戻せ、公契約案



公契約条例制定などの意見書採択を求めて、市議会議長への陳情行動を取り組みました。

例の制定」等3つの要請書を提出し、参加者から具体的に要請内容について発言し、懇談しました。組合からの要請について当局は、「今回提出された切実な要請について関係部局に真摯に対応するよう伝え後日文書で回答する」と述べ、組合側から文書での回答と回答に基づく懇談の場を設定するよう求めました。

北九州市議会に対して、「最低賃金の改善」「公契約条例の制定」「消費税増税反対」などの意見書・決議の採択を求めて陳情行動を取り組みました。



全労連2019年春闘要請書の提出と最賃、公契約条例制定、民間委託校を直営に戻すことなどの要請書を提出しました。

一日総行動第2弾として、3月7日（木）九州電力に、「リスクの多い原子力発電から撤退し、再生可能エネルギーによる発電に転換することを求める要請書」を提出し懇談を行いました。九電側からは、組合からの質問、①原発稼働によって1年間の放射性廃棄物の量と種類、その処置は、②使用済み核燃料の乾式貯蔵とは、③玄海1号機、玄海2号機の廃炉費用について、④大型蓄電器の開発について、分かりやすく説明がありました。

## 雨あがり

政府が進めている、沖縄辺野古の米軍新基地建設についてさる2月24日、辺野古埋め立てに関する沖縄県民投票が行なわれました。

投票の結果は、有権者数の50%以上が投票し、反対71.7%、賛成19.9%、どちらでもないが8.7%で、基地移設埋め立て反対の民意が示されました。

この結果を受けても安倍総理大臣は「普天間の危険除去のためには辺野古への移転しかない」と述べ、政府はその後も工事を止めることはなく、翌日には辺野古の海に土砂が投入されています。

私は3年前に初めて辺野古を訪れましたが、それから何度、辺野古を訪ねても沖縄の方たちが座り込み、それを制圧する警察の図式が続いています。初めて辺野古を訪れた私にはとても信じられない光景だったことを今でも覚えています。

福岡県の築城基地でも辺野古に普天間の一部が移設できないことが発覚したため、普天間の一部を移設するなどの計画も浮上しています。沖縄の問題はもはや沖縄県民だけの問題ではなく日本全国どこでも起こりうる問題ではないでしょう。

(石)

# 原発のない未来は そう遠くない！ 激しい雨の中、さよなら原発！3・10北九州集会に600人参加

さよなら原発！3・10北九州集会が小倉北区勝山公園で開かれました。雨・風が強く開催が危ぶまれましたが、開始時間前になると多くの参加者が集まり無事に開幕することが出来ました。主催者発表では、600人を超える参加、北九州地区労連が担当したパレード要員も開始時間前には予定していた40人が集まり、万全の体制がとれました。残念ながら、雨風が収まらずにパレードは中止となりましたが、すべての原発を廃炉への気持ちのこもった集会として成功しました。

さよなら原発！3・10北九州集会は、定刻の12時50分の転換など原発のない社会へ北九州のうたごえの仲間によるの転換を訴えました。

東日本大震災から8年 原発にさよならを

政治風刺を楽しみ、棚次実行委員長のあいさつ、深江事務局長の基調報告、原発現場で働き放射線被害にあった労働者の訴え、エフコープ生協、グリーンコープ、全港湾青年労働者の訴えなどが次々に登壇し、「すべて原発を今すぐ廃炉、リスクの



あらかぶ裁判を支援する会からも多くの仲間が参加していました。

2011年3月の東日本大震災から8年たちました。政府は、集中復興期間は終了し、復興・創生期間に入ったといえます。しかし、5万4千人の避難者が存在している状況をみると疑問です。

とくに原発事故の影響が大きい福島県は、いまだ帰還困難地域を抱える深刻な状況にあります。

## 原発災害からの復興は？

10年で復興期間が終了の予定ですが、すでに賠償や支援策が打ち切られつつあります。

避難指示が解除された地域では、避難者への仮設住宅の提供も打ち切られようとしています。

賠償についてみると地域間の格差は手直しされています。避難指示区域外の避難者への賠償や支援策が乏しいのが現実です。

無償の仮設住宅は、区域外避難者にとって重要ですが、これがどうなるのか深刻です。

政府の避難者対策は、「帰還対策」「避難終了政策」というものです。

避難者を帰還・移住へと移行させ「避難」という状況を終わらせようとしています。避難者の意識は、帰還か移住かの二者択一に収まるものではありません。避難先にとどまり避難元と緩やかにつながろうとする試みもあります。多様な選択が必要で、各地で賠償や復興への集団訴訟も取り組まれています。

## 原発のない未来は？

政府が成長戦略の柱として取り組んできた「原発輸出」がト

ルコ・イギリスなど総崩れの状況になっています。

原因は、安全対策費のコストが増大したためとされています。日本国内での安全対策は、大丈夫なのでしょう。

太陽光発電や風力発電のコストもどんどん下がってきています。北九州市では、洋上風力発電が現実味を帯びてきました。

福島原発被害者の救済を大きく進め、原発ゼロの実現のためにみなさんのご協力をお願いします。

## JMITU福岡地本定期大会

三月十七日九時から県労連会議室に役員代議員30人が参加して、第二十回定期大会がひらかれ運動方針、予算、規約改正など満場一致で可決されました。

役員改選で、雪竹委員長から鉄鋼支部の香川委員長に、書記長には門司小倉支部の今泉書記長に変わりました。



香川新委員長の首頭で団結がんばろう！

春闘要求前進をめざす3・14 労働者大宣伝行動に34人が参加

消費税あげるな！賃金あげろ！  
憲法変えるな！政治を変えろ！  
賃金底上げで景気回復！  
めざせ最賃1500円！  
辺野古新基地建設反対！  
築城基地の米軍化反対！

2019年春闘、3月14日の回答指定日の翌18時から、国民春闘共闘委員会、全労連に結集し、春闘要求の前進をめざすチラシの配布、マイク宣伝行動を取り組みました。チラシは、400枚用意しましたが、あっという間になくなり、事務局も驚きました。

永富北九州春闘共闘連絡会議長から2019年春闘の状況などについて報告があった後、チラシの配布と同時に、健和会労働組合細川書記長、北九州市職労前田書記長、年金者組合仲築問事務局長、福建労北九州支部新屋敷書記長、エフコープ生協労組長田副委員長、北九学嘱労高崎特別執行委員、地域ユニオン土井副委員長の7組合から2019年春闘の取り組み状況、獲得すべき要求課題などについて報告していただきました。

統一行動終わりに当たって、永富議長がまとめをし、団結カンパロウを三唱して終わりました。

# 第90回北九州統一メーデーに参加しよう メーデー成功に向けて準備が始まりました

第90回北九州統一メーデー  
第1回実行委員会が開かれました。参加は、18団体20人で、実行委員会の始まる前に北九州のうたごえの仲間の歌唱指導で、「真実は沈まない」と世界をつなげ花の輪に」の2曲を歌いました。

ナショナルセンターの違いを超えて、郵政ユニオンスト決行！

2019年春闘要求前進！  
3・19郵政ユニオンスト突入  
集会に参加しました。

3月19日(火)7時30分  
から9時まで、「大幅賃上げ獲得」「200条裁判勝利」「裁判に従って格差を是正しろ」「非正規労働者に手当を支給しろ」等の要求を掲げて、北九州中央郵便局の松野組員が1時間ストに突入した。

北九州地区労連、福岡県労連、自治労全国一般、全労協ユニオン北九州、北九州共闘センターなど60人を超える労働者が小雨降る中支援に駆けつけた。日本共産党からも、大石県議予定候補、出口市会議員、宇土役員も参加し、大石県議候補から力強い激励が寄せられました。

永富議長のあいさつの後、堀田実行委員会事務局から開催日、開催場所の確認が提案され満場一致で確認。第90回メーデー開催の意義と今後の取り組み、スローガン、メーデー財政、運営要綱、役員体制、財政案、今後の日程などについて提案があり、協議の結果大筋了承されました。

スローガンについては意見が集中し、消費税についてはもっと分かりやすいものに、築城の米軍基地化が強化されている中、爆撃機などの爆買い問題についても入れた方がよいのではなどの意見が出され、第2回実行委員会までに事務局まで案文を届けることが確認されました。



賃金あげろ！のプラスタ持参でストライキ支援集会に参加しました



第1回実行委員会に18団体20人が参加。メーデー成功に向け熱心に意見交換

## 3・17憲法が生きる未来を！福岡県集会に3000人

3・17憲法が生きる未来を！福岡県集会が開かれました。集会では勝山吉章福岡大学教授の「右も左も保守もない、大金持ちのための政治ではなく国民みんなのための政治を！」と題



集会終了後、2コースに分かれ天神までパレードを行ないました

5月1日(水・祝)10連休の中日の開催、90回という節目のメーデーにふさわしい多くの参加を勝ち取りたいものです。

した基調講演がありました。立憲民主党、日本共産党など5つの政党が参加し、福岡県での野党共闘、市民共闘の広がりを感じることが出来る集会となりました。その後、労働者代表としてJMITUの今泉さんが「労働者のたたかいに」について発言し「築城米軍基地化を許さない」など8人の参加者から発言がありました。県内各地から3000人が集まり元気の出る集会として大きな成功を勝ち取りました。集会后2コース分かれて天神までパレードを行ないました。



福岡県集会には、3000人が集まりました。集会風景です。

## 福岡県知事選挙 しのだ候補の勝利で、嘘と疑惑だらけの安倍政治を終わらせよう！

福岡県知事選挙、3月21日(木)告示されました。予想通り自民党は現職の小川候補と麻生の推薦する元官僚の竹内氏に分裂。福岡県民の会は、しのだ清氏が統一候補として立候補、三つ巴のたたかいとなりました。

北九州での第一声、スタート集会 残された期間は少ないですが、労働者部隊として3月28日(木)10時から開かれました。参加者は少なかったのですが、大石県議候補、田村衆議院議員、仁比聡平が小倉北区旦過市場横で3月28日(木)1時から小倉駅南口パデストリア加者は少なかったのですが、大石県議候補、田村衆議院議員、仁比聡平

必勝に向け全力でがんばらなければと決意を新たにしました。

4月7日(日)は福岡県知事選挙の投票日です。憲法を暮らしに活かす県政、県民のいのちとくらしを第一に掲げるしのだ清候補が、選挙戦の中で、安倍暴走政治ストップを訴え、大きく世論化することは安倍政権の打撃を与える事になります。組合員の皆さんが積極的に投票行動に参加するよう呼びかけます。



福岡県知事選、しのだ候補の欠にあふれる北九州市第一声です。大石県議候補、仁比参議院議員も参加し激励の挨拶。

労働法コラム 第51回

# アルバイトと労働契約法20条



黒崎合同法律事務所  
溝口 史子 弁護士

平成31年2月15日、大阪高等裁判所は、大学の教室事務員としてフルタイムでアルバイト勤務をしていた女性に賞与を支給しなかった等の取扱が、労働契約法20条が禁じる有期契約労働者と無期契約労働者との不合理な格差にあたるとして、学校法人に約110万円の支払を命じる判決を出しました。

女性は、1年契約でアルバイト雇用され、2年経過した後、業務外疾病により1年休職し、退職しました。この間、女性は、正職員と比較して基本給が低かったほか、賞与が支給されず、夏期特別有給休暇が認められ



ず、業務外疾病（私傷病）による欠勤中の給与が支給されない等、正職員とは異なる取扱を受けてきました。

このうち基本給の格差について、裁判所は、正職員とアルバイト職員との間で、職務、責任、異動可能性、採用に際し求められる能力に相違があり、賃金の性格も異なる（職能給と職務給）として、両者の間の約2割の賃金格差は不合理とは言えないと述べ、女性の訴えを退けました。

他方、裁判所は、学校法人における賞与の支給が、正職員全員を対象とし、個々の従業員の年齢や成績に連動するものではなく（一律通年で基本給の4.6ヶ月分を支給）、法人の業績にも連動していないことを踏まえ、賞与の性質を、賞与算定期間に在籍し、就労していたこと

それ自体に対する対価と評価しました。そして、正職員と同様に在籍し、就労していたアルバイト職員に賞与を一切支給しないのは不合理であるとし、契約職員には正職員の8割の賞与を支給していたことを考慮して、女性に対しても正職員の6割の賞与を支給するよう命じました。

また、裁判所は、正職員には認められている5日間の夏期特別有給休暇の取得について、正職員とアルバイト職員との間で、夏期の疲労回復、お盆行事等による帰省等の必要性に大きな差異はないとして、アルバイト職員に夏期特別有給休暇を付与しないことは不合理であると判断し、女性に夏期特別有給休暇分の賃金に相当する額を支払うよう命じました。

さらに、正職員には認められている業務外疾病による欠勤中の給与（6ヶ月間賃金の全額+6ヶ月間賃金の2割）について、裁判所は、正職員のそれまでの長期間就労への評価や以後の継続就労に対する期待から、正職員の生活保障をはかるための制度であるとしつつも、フルタイムで勤務し、一定の習熟をしたアルバイト職員については、職務に対する貢献の度合いもそれなりにあり、代替性が高いとも言いがたく、生活保障の必要性があることは否定できない

いと、業務外疾病による欠勤中の給与を一律に支給しないのは不合理であるとし、女性に対しては、病気による休職期間につき、1ヶ月分の賃金の全額と2ヶ月分の賃金の2割を支払うよう命じました。

この判決は、昨年6月のハマキョウレックス事件最高裁判決に続き、非正規労働者に対する不合理な取扱を是正する判決です。特に、これまで認められなかったアルバイト職員（それも比較的短期間）への賞与支給を認めた点が画期的です。この判決を参考に、アルバイト職員に対しても就労実態に応じた賞与支給や夏期休暇の付与等の処遇改善を行うよう、求めていきたいと思います。



### 重税反対全国統一行動 永富議長が激励挨拶

消費税10%増税反対などの要求を掲げ、「3・13重税反対全国統一行動」が、3月11日Δ1P2階大ホールで、小倉地区集会が開かれ200人を超える参加でした。

集会には、北九州地区労連永富議長が参加し、激励の挨拶を行いました。

集会では、税務署に対する申し入れ書と集会宣言を採択し小倉税務署まで、消費税10%アップはするな！、生活費に税金をかけるな、納税者の権利を守れなどのスロガンをかかげ小倉税務署までデモ行進、集団申請を成功させました。